

米 年 一 月

今日我が党のインターは、マルクス主義の歴史的破産とスターリン主義の主体の貫徹により、閉じられた歴史時代を根本的に止揚する斗争を「現体制対四インター」の斗争として前進させている。それは「反帝・反共」として閉じられた現体制と、その一翼としてある現代階級斗争の欺瞞性の全面的な暴露として開始される。

一体、現在、七〇年安保の一段落という事態の中で、それぞれの党派により、確認されているものとは何か？

保守自民党は、七〇年斗争が平和裡に終わったことに自己の支配の確信を深め、共産党は、七〇年代を「自・共対決の時代」と規定し、「民主連合政府」の樹立を七〇年代の課題に設定した。そして、「反日共軍」へ反スター各派は、七〇年安保直後の「挫折感」とは異なり、自己の運動の基盤が拡大し大衆的に市民権をかくとくしたところの中に確信を見出している。傷ついたものは社会党ぐらいで、右も左も勢力を拡大し、確信を増加させているということだ。

だがこのからくりは、現代の階級的諸関係の真の内容を暴露している。

即ち、保守自民党の確信は、革新左翼の基盤を自己のものにすることによって増大せるものであった。日共の拡大は、保守自民党の基盤を包摂することによってのみ成功している。そして「反スター」新左翼は、既成の保守革新の分裂と自己を作り出さんとする分裂が決して異なれぬのでないということによってのみ、彼らの運動拡大を説明し得る。

よこしく、このことの中にこそ、現代の階級的諸関係が、たゞ、不能・欺瞞的な「資本主義対社会主義」に根拠づけられた、「反帝・反共」の「一翼」しかないことを示しているであろう。ホミインターの解体とスターリン・スト官僚の勝利という歴史的革命は、革命の成果（労働者団家、社会主義圏）が主体にとって外在的なものに転化し、それによって作られる「資本主義対社会主義」の見せかけの対立の中に全大衆を組み込んで

機関紙「カ4インター」
の定期購読を乞う!

一部 20円 (送料15円)
半年分 420円 一年分 840円 (送料共)

文献

「マルクス主義の破産と現代世界革命」

定価 960円 送料 60円 A5判 箱入 350頁

(申し込み先) 新宿区下宮比町2

世界経済研究所

振替(東京)140694
TEL(260)2452

始めて現体制が維持されるという、在野の転倒を意味しているのだ。
我がカ4インターは、かゝる在野内容を全面的に向うことの中に
現代における真の変革の展望と主体形成の道があるものとして斗
えている。その意識化の武器は、機関紙「カ4インター」として斗
うにある。すべての全大衆は、カ4インターへ結集せよ。
機関紙「カ4インター」を購読せよ。